

## ボルグワーナー、小型軽量VCT技術を スバルの2017年型「インプレッサ」に供給

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:ジェームズ・ベリアー/James Verrier) は、中間ロック機構を備えた新しい小型軽量カムトルク駆動(CTA)型の可変カムタイミング(VCT)技術を、新型スバル 1.6L、2.0L「BOXER®」エンジン向けに供給したことを発表しました。2017年型「インプレッサ」に供給したボルグワーナーの小型軽量 VCT 技術は、少量のオイル消費でバルブタイミングを正確に制御し、燃費とエンジン性能を向上させます。

ボルグワーナーの CTA 型フェーザーは、バルブトレイン内の既存エネルギーを利用して、従来の油圧式 VCT システムよりも幅広いエンジン回転域と油温帯で、高速作動します。ボルグワーナーが特許を取得している中間ロック技術は、いかなる運転状況においてもエンジン始動を確実にするべく中間ロック位置に復帰可能にします。また、ボルグワーナーは、受賞実績を誇る VCT 技術に加え、CVT オイルポンプドライブ用の 6.35mm サイレントチェーンも供給しています。

ボルグワーナーのエンジンタイミングシステムおよび可変バルブタイミング機構関連事業を展開するグループ会社、ボルグワーナー・モールズシステムズの社長兼事業本部長であるジョエル・ウィガート(Joel Wiegert)は、「当社のエンジニアは、スバル新型エンジンの仕様を満たすために、VCT 技術をあらゆる側面から評価し、それぞれのイノベーションについて広範な試験を実施しました。当社の VCT 技術は、様々な手段を講じてパッケージを小型、軽量化するとともに、これまでと同様の高速かつ高精度の作動を実現しております。当社は VCT の先進技術を 10 年近くにわたり日本国内の工場からスバルに提供しております。アメリカ国内でも最新の VCT を生産開始し、現地にあるスバルの組立工場を支援できることをうれしく思います。」と述べています。



軽量でコンパクトな本 VCT 技術は、燃費の向上や高速かつ高精度のパフォーマンスを実現

## ボルグワーナーについて

ボルグワーナー（NYSE: BWA）は、自動車の内燃機関、ハイブリッド車、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーです。世界 17 カ国 62 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 27,000 人の従業員を擁しています。詳細については、[borgwarner.com](http://borgwarner.com) をご覧ください。

本プレスリリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待、推測、予測に基づく、1995 年米国私的有価証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「もたらす」、「推測する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「取り組み」、「意図する」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「計画」、「追求する」、「目指す」、「すべき」、「目標とする」、「の場合」、「と見込まれる」といった文言、その変化形、同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを明示することを意図しています。将来予測に関する記述にはリスクと不確実性が付随しますが、そうしたリスクや不確実性の多くは予測困難かつ一般に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、予測、示唆された事柄が実際の結果と著しく異なる場合があります。そうしたリスクおよび不確実性には、国内外の車両生産の変動、OEM 企業による外部サプライヤーの継続的な利用、当社製品が使用された車両の需要の変動、一般的な経済情勢の変化、直近の Form 10-K 年次報告書で挙げたリスク要因をはじめとして当社が証券取引委員会に提出した報告書で述べたリスクが含まれます。当社は、将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

＜報道に関するお問い合わせ＞

ボルグワーナー広報事務局 後藤、副島、山本

TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316 E-mail : [borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp)